正誤表

『臨床工学技士標準テキスト』第4版第1刷（2022年3月15日発行），第2刷（2022年8月15日発行），第3刷（2024年1月20日発行），第4刷（2026年8月30日発行）に誤りがございました。
下記のとおり訂正し，お詫び申し上げます。

2026年8月31日　　金原出版株式会社

記

頁	訂正箇所	誤	正
297	本文左段 4〜5行目	…，1 cm^2 あたり 1 mF 程度，筋細胞ではとくに大きく，10 mF 以上といわれる。	…，1 cm^2 あたり 1 μF 程度，筋細胞ではとくに大きく，10 μF 以上といわれる。
404	本文右段15行目および18行目	20〜40 mm のフィルタで除去され，…フィルタのサイズが 100〜150 mm と粗く…	20〜40 μm のフィルタで除去され，…フィルタのサイズが100〜150 μm と粗く…

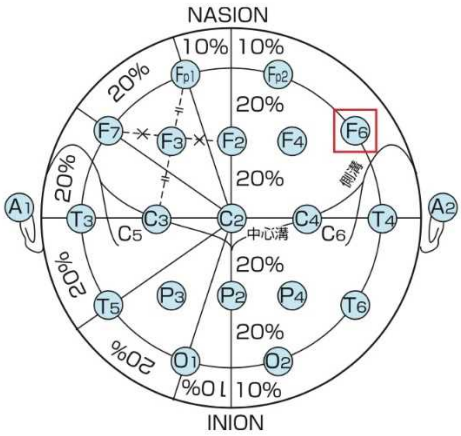
以上

正誤表

『臨床工学技士標準テキスト』第 4 版第 1 刷（2022 年 3 月 15 日発行）に誤りがございました。下記のとおり訂正し，お詫び申し上げます。

2022 年 5 月 27 日　　金原出版株式会社

記

頁	訂正箇所	誤	正
523	図 19	赤い四角で囲った箇所が誤り 	

以上

正誤表

『臨床工学技士標準テキスト』第 4 版第 1 刷（2022 年 3 月 15 日発行）に誤りがございました。下記のとおり訂正し，お詫び申し上げます。

2022 年 3 月 24 日

金原出版株式会社

記

頁	訂正箇所	誤	正
3	1〜2 行目	1887 年に臨床工学技士法が成立して，･･･指定講習会が始まった。これが終了した 2002 年からは，養成学校修了者のみが受験できる時代に入った。	1987 年に臨床工学技士法が成立して，･･･指定講習会が始まった。これが終了し，1993 年からは養成学校修了者のみが受験できる時代に入った。
574	左段 1〜2 行目	$\text{ガス残量(L)} = \dfrac{\text{容器内の液体の重量(g)}}{\text{気体の分子量(g/mol)} \times 22.4\text{(L/mol)}}$	$\text{ガス残量(L)} = \dfrac{\text{容器内の液体の重量(g)}}{\text{気体の分子量(g/mol)}} \times 22.4\text{(L/mol)}$

以上